

◆ 構想全体の方向性

- ・ なぜ今デジタル田園都市国家構想なのか（デジタル活用による地方創生が必要か）について、わかりやすく説明していただきたい。
- ・ デジタル以外の地域づくりが取り残されないようにすべき。光ファイバ・5Gなどには地域間格差があり、地方には人材やリテラシーの課題もあるため、地方の声も聞きながら総合戦略をまとめていただきたい。
- ・ デジタルに関する全国総合開発計画のような総合ビジョンを国家主導でつくることを、総合戦略に位置付けるべき。
- ・ デジタル田園都市国家構想のレビューや評価を国内外に伝えることが重要。

◆ 各主体の参画

- ・ 国や自治体などの「公」と、企業や大学などの「民」がスピード感を持ってオールジャパンで取り組むことが重要。総合戦略では、それぞれの役割分担や財源を明確にするとともに、産官学の連携を後押しする内容が必要。
- ・ 行政をはじめ、市民、企業、団体等、皆でデジタル実装に挑戦する機運づくりが重要。
- ・ 地域課題に共感し、市民参加型で解決していくチーム作りが重要。そのためには、首長の雰囲気づくり、リーダーシップが必要。
- ・ 若者が地域と関わるきっかけを見つけるためにも、Well-being指標の活用が重要。

◆ 地域の個性を活かした取組

- ・ 横並びのまちづくりではなく、それぞれの地域の個性を生かしたまちづくりを進めることが重要。
- ・ 地方に適した地域ビジョンの実現に向け、地域が主体的にデジタルを活用した具体的な施策に取り組んでいくことが重要。取組を通して、便利で快適になったことを住民に実感してもらうことが必要。
- ・ サステナブルな地方創生を実現するために、地域の個性を生かすことが重要。

◆ 地方への支援

- ・ 地域経済を支える中小・零細企業や農業者は、人材、予算、地形などの面で制約が多く、特に中山間地域では顕著。こういう人達に寄り添ったデジタルの利用・導入の支援が必要。
- ・ 財政支援のみならず、インフラや人的支援を含め、様々な観点からの支援を継続いただきたい。
- ・ 転職なき移住の推進など地方に移住できるような環境整備を後押しする力強い政策が必要。

◆ 横展開の推進

- ・横展開の加速化に向け、Digi田甲子園の取組や交付金による支援の強化など、各府省庁の政策資源を糾合していただきたい。横展開にあたっての技術的な支援や共通ルールの整備にあたり、デジタル庁に積極的な取組をお願いしたい。
- ・Digi田甲子園の事例を横展開しやすいよう、紹介の仕方を工夫してほしい。
- ・先導的な取組を行う自治体が、横展開に力を入れてもらうための仕組みを検討いただきたい。
- ・横展開を進める上で、財政的なインセンティブだけでなく、具体的な戦略や戦術を作る必要がある、総合戦略に落とし込んでほしい。

◆ 民間資源の活用

- ・企業が地域へ投資するインセンティブの仕組みづくり、官民の柔軟な人材交流が重要。
- ・行政がソーシャルビジネスやスタートアップに協力できるような仕組みにしてほしい。
- ・5Gインフラのシェアリング、特に共同基地局を全国に広げるための投資の仕組みを作っていただきたい。PPP/PFIの活用も促進すべき。

◆ スタートアップ・イノベーション

- ・その地域にしかないユニークな課題や強みを軸にして、イノベーションを生み出すことが重要。
- ・地方は、都会で閉塞感を感じる若者が力を発揮できる場。域外からのスタートアップ支援などを通じ、若者の活躍を後押ししてほしい。
- ・デジタルを活用してソーシャルイノベーションを生み出すために、市民の参画、特に若者のエンパワーメントを促すことが重要。
- ・マイナンバーカードの利活用を全国的に広げるためにも、ソーシャルビジネスやスタートアップが重要。行政がソーシャルビジネスやスタートアップを共創できるように契約などの仕組みを改革してほしい。

◆ マイナンバーカード

- ・マイナンバーカードによって生活が変わるというイメージを持ってもらうことが必要。
- ・マイナンバーカードをわかりやすく知ってもらうための広報活動を展開していただきたい。
- ・利用実感のあるマイナンバーカードを活用したサービスを官民で協力して提供してほしい。
- ・マイナンバーカードと他のICカードの連携など、活用を進めることがデジタル実装の底上げにつながる。